



岐阜北週報

11月 ロータリー財団月間

□ 題 字	西垣 康紀	□ 会 長	西垣 康紀	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	川崎 賢二	2019-2020
□ 会 場	都ホテル岐阜長良川	□ 幹 事	岡田 忍	No.1784
		会報委員長	榊原 典夫	19.11.13

前回の記録

第 1783 回 例会 11月6日(水)
 慶祝行事
 クラブフォーラム(5)

担当：ロータリー財団委員会

本日の予定

第 1784 回 例会 11月13日(水)
 献血例会(1)
 岐阜献血ルーム

担当：社会奉仕委員会

次回の予定

第 1785 回 例会 11月20日(水)
 クラブアッセンブリー(4)
 地区大会報告
 100万\$

担当：会長・幹事

会長挨拶【西垣 康紀 会長】



今月はロータリー財団月間ということで、ロータリー財団委員会のクラブフォーラムです。

ロータリー財団がいつできたかを調べてみますと1917年に当時の6人目のRI会長アーチ・クランフが世界でよいことをするためにと26ドル50セントの寄付から基金をスタートさせて始まりました。会長への記念品の購入資金を寄付したとのこと。ロータリークラブは1905年にできて、その12年後です。ちなみに、日本の最初の東京ロータリークラブ創設が1920年なので、これよりも早いです。

当時の26ドル50セントの価値はどのくらいかをインフレ計算率を考慮して計算すると、現在価値で540ドルくらいでした。日本円で約6万円といったところでしょうか。この金額

会長挨拶 続き

からスタートし、現在は年間で8千7百万ドル、日本円にして約100億円の補助金を授与する規模になっています。その中で力を入れているポリオ撲滅に代表される疾病予防には40億円授与されています。

出席報告

会員数：40名
 出席数：34/40名
 出席率：85.00%
 欠席者：6名(出席免除 4名 94.44%)
 来訪者：地区ロータリー財団 道家嗣典 様
 岐阜南ロータリークラブ 鈴木敏昭 様
 同上 森 久元 様 柳原正明 様
 米山奨学生 タリエレヴァ・ナルギリア 様



岐阜南ロータリークラブの皆様

慶祝行事

1. 会員誕生日のお祝い
 - 11月 5日 三木 淳 会員
 - 11月20日 古野登喜夫 会員
 - 11月28日 小島 正三 会員
2. ご夫人誕生日のお祝い
 - 11月 5日 前田 澄子 様
3. 結婚記念日のお祝い
 - 11月11日 谷藤 哲 会員
 - 11月12日 小島 正三 会員
 - 11月23日 安藤 武司 会員
 - 11月25日 竹村 博之 会員

・新入会員 柳原 健二 会員



・ナルギリアさんへ米山奨学金の支給



ニコニコ BOX (敬称)

- ・小泉 宣昭：柳原さん入会おめでとうございます。
- ・井戸憲一郎：柳原さん入会おめでとうございます。
- ・谷川 秀喜：今日も出席が出来ありがとうございます。
- ・三木 淳：誕生日です。11月よろしくお願ひします。
- ・中野 直人：こんにちは！

委員会・同好会報告事項 (敬称略)

・ IGMの活動報告 原尾 勝 会員



日時：令和元年10月25日(金)18時30分～
 会場：都ホテル岐阜長良川 四川
 参加者：原尾 勝 (リーダー)、山口八郎、
 前田吉彦、近藤裕二、中野直人、
 木田高広、谷藤哲、小森保敏 (世話人)

本日の IGM に新会員が 4 名いらっしゃいますのでこの新会員の方にロータリークラブについての意見、感想をお聞きしました。

⇒ ロータリーについては、まだよく解らない。特に不平、不満はない。楽しくやっている。堅苦しくないのとロータリアンは皆平等であるというのが素晴らしい。

⇒ ロータリーがよく解らないということについては、まずは、例会に無理してでも是非、出席してほしい。出席すれば少しずつ解ってくる(出ないといつまで経っても解らないままだし段々来づらくなるので・・・)。よく解らないというのは当然のことなので、ま

ニコニコ BOX (敬称略)

- ・竹村 博之：結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。
- ・片桐順一郎：ロータリー財団道家様をお迎えして。
- ・長野 鉄司：今月もよろしく。
- ・岡田 忍：道家さんようこそ！本日の卓話よろしくお願ひします。

委員会・同好会報告事項 続き

ずは、3年間は何があっても辞めないでほしい。
 (3年くらい経つと少し解ってくるので)
 3年目位には、委員長等の主要ポストに就いてもらおうとよい。そうするとロータリアンとしての実感や責任感、絆のような仲間意識が湧いてきてロータリアンとして認めてもらえたような気持ちが湧いてくると思う。よって若い人や新人を重要ポストにドンドン登用して活性化していくべきである。

執行部がやるべきことは、新人教育プログラムを作成して(今のプログラムには無いので)、ロータリーについての教育の機会を与えるべきである。年度プログラムの卓話の代わりに組み込む。また、年に3~4回程の新人教育セミナーを実施すべきである。(これは、多くのクラブで実践していますし、講師ができる人は当クラブでも沢山います)

幸い、本日、会長エレクトがみえるので、次期のプログラムにこの二つを組み込んでほしい旨をお願いした。

また、新会員は親睦、会報という順になっているが、一度に沢山入ったら全員親睦というわけにはいかないの、これも臨機応変に対応すべきではないか?という意見があった。

次に新会員には、奉仕活動を通じて世の中に貢献する、お世話をすることで皆さんに喜んでいただける、ありがとうと言ってもらえる、そんな喜びや楽しさ、素晴らしさを実感してもらいたい。積極的に参加していただいてロータリーの良さ、ロータリーを通じでできる奉仕の素晴らしさを知っていただきたい旨の話をさせていただきました。

本日の課題である「今後のクラブのあり方について」と「会員増強・拡大について」は、時間が無くなり、じっくり討論できませんでした。資料を作りましたので添付致します。

(※資料はHPに掲載しますのでご覧ください)

・社会奉仕委員会 安藤 重広 委員長
 11月13日献血ルームに集合をお願いします。

・親睦交流委員会 岡田一二三 委員長
 本日BOXにクリスマス家族例会の案内を配布しました。多数参加をお願いします。

幹事報告事項

・九州北部豪雨災害に義援金188,193円を贈る。

例会行事 卓話

・地区ロータリー財団 補助金小委員会
 奨学金・学友担当 道家嗣典様(岐阜加納RC)



※卓話は岐阜北ロータリークラブHPへ掲載します。

次回例会のご案内

第1785回例会 11月20日(水)
 クラブアッセンブリー(4)
 地区大会報告・100万\$
 担当:社会奉仕委員会

会報・広報 11月担当 岡田一二三